

若手職員のお仕事紹介

# きっかけはココにある！

～障がい福祉の仕事を選ぶ理由～



札幌市

# 目次

■	目次	.....	P1	■
■	障がい福祉の仕事とは？	.....	P2	■
■	障がい福祉の働く現場	.....	P3～4	■
■	居宅介護	.....	P5～6	■
	棚橋 凌さん（ホームヘルパー）			
■	行動援護	.....	P7～8	■
	山口 紗季さん（ガイドヘルパー）			
■	生活介護	.....	P9～10	■
	長谷部 優さん（生活支援員）			
■	施設入所支援	.....	P11～12	■
	四ツ屋 若菜さん（生活支援員）			
■	放課後等デイサービス	.....	P13～14	■
	金井 駿亮さん（児童指導員）			

## ～あなたの力を障がい福祉の未来へ～

このパンフレットは、障がい福祉の現場に携わる若手職員のインタビューを通じて、障がい福祉の仕事の「魅力」や「やりがい」をより多くの方々を知ってもらうことを目的に作成しました。

医療・福祉分野の仕事は幅広く、多種多様な方々が活躍されていますが、このパンフレットをきっかけに、「障がい福祉の仕事」に興味を持っていただき、職業選択の一つとして考えていただければ幸いです。

個性豊かな障がい当事者の方々と共に成長し合える、障がい福祉の職場であなたも働いてみませんか。

札幌市障がい福祉課



# 障がい福祉の仕事とは？

## 1 障がい福祉とは？

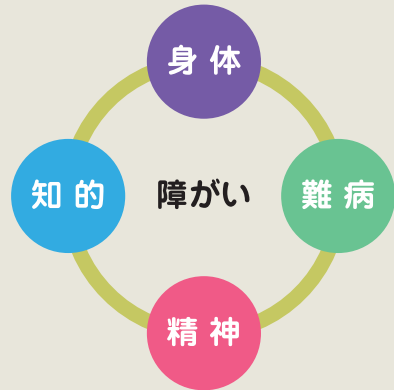
●幅広い支援方法で障がいのある方を支えています。

障がい福祉とは、障がいのある方の生活を支えるための支援のことを言います。それぞれの障がいの中で、個別の状態や症状がありますので、どんな支援を求めているかもそれぞれ異なります。

例えば障がいのある方の相談に応じることや、買物・移動のお手伝いをすること、住まいを提供することなど、支援の方法は多岐に渡ります。

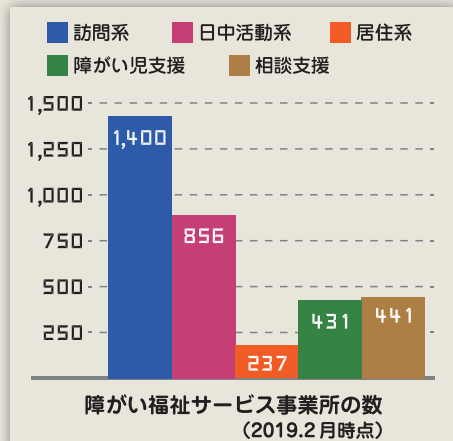
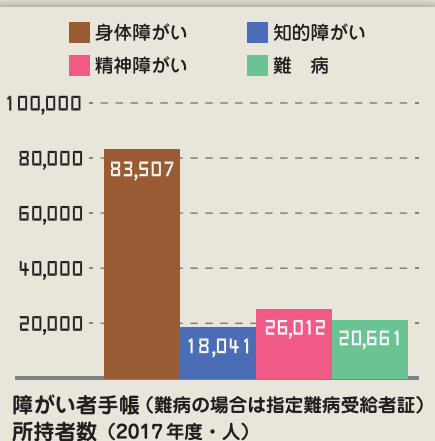
障がい福祉の仕事とは、そのような多くの支援に携わることですが、その職種はさらに様々と言えます。

【障がいと言っても種類は様々】



## 2 札幌市の現状は？

●札幌市には多くの障がいのある方がおり、また、その方々を支える多くの障がい福祉サービスがあります。



# 障がい福祉の働く現場

## 主な訪問系サービス



### ホームヘルプサービス

#### ●居宅介護

ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介護や調理・掃除などの家事援助などを行います。

#### ●重度訪問介護

重度の肢体不自由または重度の知的・精神障がいにより常時介護を必要とする方に対し、ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や家事援助、外出時における移動中の介護などを総合的に行います。

### ガイドヘルプサービス



#### ●同行援護

視覚障がいにより、移動に著しい困難がある方に対し、外出時に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の支援などを行います。

#### ●行動援護

知的又は精神障がいにより行動上著しい困難がある方に対し、行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な支援、外出時における移動中の介護などを行います。

## 主な日中活動系サービス



#### ●生活介護

常時介護を必要とする方に対し、昼間に施設に通っていただき、入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行います。

#### ●就労継続支援A型

一般就労が困難な65歳未満の人に対し、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労への移行に向けた支援を行います。

#### ●就労継続支援B型

一般就労が困難な人に対し、雇用契約を結ばずに生産活動等の機会の提供を行うとともに、就労に関わる支援を行います。

#### ●短期入所

介護する人が病気の場合など、障害者支援施設等において短期間、入浴、排泄、食事の介護などの日常生活上の支援を行います。

## 主な居住系サービス



### ●共同生活援助（グループホーム）

夜間及び休日、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排泄又は食事の介護その他の日常生活上の支援を行います。

### ●施設入所支援

施設に入所する方に対し、夜間及び休日における入浴、排泄及び食事等の介護生活等に関する相談及び助言その他必要な日常生活の支援を行います。

## 主な障がい児支援サービス



### ●児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。

### ●医療型児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、理学療法等の機能訓練などを行います。

### ●放課後等デイサービス

生活能力の向上のために必要な訓練、地域との交流促進のための支援などを行います。

### ●保育所等訪問支援

専門職員が保育所などを訪問し、集団での生活に必要な訓練やスタッフへの助言を行います。

### ●居宅訪問型児童発達支援

専門職員が自宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。

### ●障害児相談支援

児童発達支援、放課後等デイサービスなど障がい児通所支援の利用を申請する方に対し、相談支援事業者がその方の状況などを考慮して、サービスを適切に利用するための計画を作成します。

## 主な相談支援サービス



### ●計画相談支援

障がい福祉サービスや地域相談支援の利用を申請する方に対し、相談支援事業者が、その方の状況などを考慮して、サービスを適切に利用するための計画を作成します。

### ●地域相談支援（地域移行支援／地域定着支援）

住宅の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談や、常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に関する支援を行います。

## 居宅介護

「スポーツインストラクターの夢から障がい福祉の世界へ」



ホームヘルパー

棚橋 たなはし

凌 りょうさん

### ●「障がい」は“個性”として捉えることが大切

元々、スポーツインストラクターを目指して専門学校に進学しましたが、周囲に人と接する際の「優しさ」を評価され、漠然と福祉関係の仕事にも興味を持ちました。学校の企業説明会で出会った今の上司の人柄や障がい福祉の仕事に惹かれて、障がい福祉分野で働くこととなりました。

働くまで障がいのある方と交流する機会も全くありませんでしたが、働いていくなかで、自分が抱えていた「障がい」のイメージも変わりました。「障がい」は「個性」として捉えることを大切に、今では利用者さんの個々の課題を一緒に考え、解決していく、ヘルパーの仕事の魅力や喜びを感じながら支援に携わっています。

### 主な仕事内容

主に居宅介護と行動援護の業務に従事しています。利用者さんは知的障がいのある方が多く、居宅介護では調理、洗濯、掃除などの家事援助のほか、「安心できる地域生活」を目標に、障がい特性に応じた外出支援（余暇支援）も行っています。

## 「利用者みなさんの人生の一部を支えさせてもらっている」

ヘルパーの仕事のやりがいは、利用者みなさんの人生の一部を支えさせてもらい、その関わりの中で喜びや楽しみを共有できることだと思います。また、利用者さんはそれぞれに個性があり、時にはどのように支援すべきか悩んだり大変な面もありますが、その過程にも何か支援の面白さがあるのではないかと感じています。

困ったときには上司が支援方法などについてアドバイスをくれるため、とても働きやすい環境で日々のヘルパー業務に従事することができています。



調理、洗濯、掃除など家事援助は慣れない部分もありましたが、実際に支援に入ることによってヘルパーとしてのスキルを積み重ねています。

### 主なスケジュール(1日)

9:00 出勤

午前 支援記録作成等

12:00 昼休み

13:00 居宅介護等のサービス提供

19:00 退勤

※シフト制: 月7日程度の休み

土日: 外出支援でお風呂やプールに同行する

### 後輩へのメッセージ

私自身、障がい福祉の分野は全く分からずに今の職場に飛び込んでいます。障がいのある方と関わったことがないと、なかなか障がい福祉分野の仕事を想像することができず、不安もあるかと思っています。まずは気軽にボランティアなどに参加して、障がいのある方との交流を体験してみてください。また、ヘルパーの仕事は大変な面もありますが、その分楽しみも見出すことができるので、是非、障がい福祉分野で働いてみませんか。お待ちしております。



## 行動援護

「人に関わる仕事が向いてるね！  
その一言がうれしくて！」



ガイドヘルパー

やまぐち  
山口 紗季さん

### ●「興味がなくても、やってみると面白い」

中学や高校時代に「人と関わる仕事に向いているね」と褒められたことがきっかけで、福祉関係の仕事も含め接客業に興味を持ちました。福祉系の大学に進学したものの、就職についてはノープランで、一般企業への就職活動もしましたが、教授からの「偶然の誘い」もあり、現在の法人に就職することとなりました。

実は福祉関係で一番興味がなかったのが「障がい福祉分野」でしたが、興味のない分野のものほどやってみると「面白い」ということが分かり、何事も経験をしてみる事が大事だと思います。現在は障がいのある方々の外出支援に従事していますが、利用者の皆さんは個性豊かで面白く、興味のない人ほどチャレンジして欲しいです。

#### 主な仕事内容

主に自閉症や発達障がい、知的障がいのある方の外出支援に従事しています。利用者さんは休日の外出機会を平日の通所や仕事の活力としており、一対一の関係性で陰ながら支援する外出支援は自分に向いていると思っています。



## 「自分自身の楽しさも大切に」

外出支援で心がけていることは、利用者さんが楽しむのが第一ですが、自分自身の楽しさも大切にすることです。利用者さんには変化を好まない方もいますが、絵・写真カードなどを活用し、様々な提案をしてみて、新たな変化をお互いに楽しめることが理想だと思います。

待ち時間が苦手な利用者さんには、気分転換になる遊び道具を提示してみるなど、利用者さんの個性やその場の状況に応じて支援の工夫を試み、それを受け入れてもらえたときは、やはり嬉しいです。



円滑なコミュニケーションを図るための「絵・写真カード」。外出支援時の必須アイテムで、言語表現が難しい利用者さんには、カードを活用して、個別のニーズを把握しています。

### 主なスケジュール(1日)

9:00	出勤
午前中	居宅介護
12:00	昼休み
13:00	行動援護(外出支援)
18:00	※退勤(夜勤支援がある場合もあり)
※シフト制:週2日の休み	
土日:休日も外出支援がある場合あり	

### 後輩へのメッセージ

障がい福祉に興味がなかったという私がいうのもなんですが、むしろそんな私だから言えることかもしれません。「興味のあるなしに関わらず何事にも挑戦しよう」。偏見やイメージというのは誰にでもあるものです。もっと突っ込んでいえば、そんな人にこそ関わりを持つ機会を増やして、考えるきっかけにしてほしいのです。障がいのある方々は実に個性にあふれています。個性に触れ楽しみを見出すことができれば、私としても嬉しく思います。

## 生活介護



生活支援員

長谷部

優さん

「祖母の介護を見て、福祉で  
力になりたいと感じました」

### ●サークルの体験をきっかけに高齢福祉から障がい福祉へ

まず、福祉に興味を持ったのは、同居の祖母が介護を受けていて、ヘルパーが自宅に来ていたことがきっかけでした。大学では福祉の学部に入り、祖母のこともあったので、高齢者福祉を専攻していました。

ある時、サークルで障がいのある方の作業所をめぐって紹介するという活動があり、現場を見て気持ちが変わりました。知的障がいのある方がパン作りや色々な作業をしている姿をみて、私もこの世界に携わりたいと感じたのです。障がいのある方を知る前は、勝手ですが、怖いなと感じることもありました。関わってみると、笑いの絶えない、楽しい方々ばかりです。そのギャップを知ることができました。

#### 主な仕事内容

利用者さんが地域で暮らしていくため、生活のリズムを整える支援を行っています。健康活動や生産・創作活動、身の回りの支援として食事の提供等も行います。外出行事のスケジュールも組み立てていて、利用者さんの「行きたい」と言っていたところで笑顔が見られると嬉しいですよ。

## 「利用者さんの笑顔やお礼がやりがいに」

普段は利用者さんの模範となるように、挨拶、服装、身だしなみや言葉遣いに気をつけています。利用者さんの中には、声で挨拶を返す代わりに小さいマスコットを持ってきてくれる方がおり、そのような日常的なやりとりも含めて利用者さんの個性を知ることが大事だと考えています。

支援していく中で、利用者さんの笑顔やお礼を見られることが、信頼関係を築けてきていると実感できて、やりがいになっています。



活動でバッグ・さをり織の制作をしています。利用者さんと一緒にミシンなどを使っています。

### 主なスケジュール(1日)

8:30	出勤
午前	健康活動(ウォーキング、リズム体操等)
12:30	昼休み
午後	生産活動
17:30	退勤

※日によってレクリエーションなどを行う。

※シフト制:週2日の休み

土日:日曜日は休み。土曜日は支援する場合もある。

### 後輩へのメッセージ

私自身、障がいのある方については知識としてありましたが、現場を見て知ったことがたくさんあります。今はネットでも、施設情報を見ることができそうですが、できれば直接見てふれあっていただくことが一番です。ボランティア活動やインターンシップなどで、職場や利用者さんの雰囲気を知ってほしいです。

私の職場は職員間の仲も良く、困ったことは相談してアドバイスをもらいながら支援しています。利用者の皆さんも個性あふれる方々です。ぜひ、直接見て、知って、関わってみませんか。

## 施設入所支援

「自然と支援を受け入れ入れてくれるようになったことが嬉しい」



生活支援員

よつや  
四ツ屋 若菜さん

### ●「実習で直感。障がいは面白い」

元々母がヘルパーだったので、福祉の仕事は身近でした。ただ、最初は体育の先生を目指していたので、福祉は考えていませんでした。進路を決めるときになって、母の姿が浮かんで福祉の専門学校に入ることにしました。専門学校での実習先選択でみんなが高齢福祉分野に行ったので、人とは違う障がい福祉分野に行ってみようと考え、実際に現場を見てみると利用者さんが賑やかで楽しくて、親近感が湧きました。その後高齢者施設の実習も行きましたが、私には障がい者施設が合っていると感じて、より面白かった障がい福祉の道に進もうと決めました。

#### 主な仕事内容

入所施設は利用者さんのお家です。食事、入浴、排せつなどの基本的な介助は全て行います。リハビリテーションの補助や、掃除・シーツ交換、余暇活動に行うレクリエーションも考えています。利用者さんは、カラオケとカードゲームが好きです。



## 「距離間を大切にしています」

初めの頃は、職員と認めてもらえず、介助などを拒否する利用者さんもありましたが、元気な挨拶や声かけを通じて、いつしか自然と支援を受け入れてくれるようになりました。その時には、また一歩進めたという実感があり、嬉しかったです。

ですが、日中・夜間と一緒に過ごし、親しくなってしまう分、家族以上のことを求められることもあります。少しの不安から、パニックを起こしてしまう方もいます。こういう時は職場の人に相談して、普通の距離を保ちながら、自然に会話をするようにしていききました。時には距離を置くことも必要だと、アドバイスをもらって助かったこともあります。



明るいホールで、利用者さんとレクリエーションやリハビリテーションをしています。見学も大歓迎です。

### 主なスケジュール(1週間)

月曜日	入浴・食事介助
火曜日	シーツ交換・入浴介助
水曜日	掃除・レクでの教室
木曜日	入浴・食事介助
金曜日	レクリエーション
土曜日	シーツ交換
日曜日	余暇活動

※シフト制で、夜勤もある。月8日程度の休み。

### 後輩へのメッセージ

私は実習で一度来たところに勤めていますが、勤めた初日にたくさんの利用者さんが私のことを覚えていてくれて、とても嬉しかったです。利用者さんの中にはそれぞれ能力の高い一面があり、実際にやってみたら「こんなに凄いことが出来るんだ」と日々発見することが出来、面白いところが魅力です。

障がい福祉分野について、見る前から抵抗を感じるのではなく、実際に見てみてください。そして1つでも面白いと思うことがあったらぜひ、やってみてほしいです。特に、体育会系の方は向いていると思いますよ。

# 放課後等デイサービス

「共に成長できる障がい児支援  
に魅力を感じている」



児童指導員

かない しゅんすけ  
金井 駿亮さん

## ●「工業高校卒業後、「介護福祉士」の道へ」

元々工業高校に通っていたのですが、進路選択に迷っていた時期に、ボランティアで障がいのある子どもたちと実際に交流する機会があり、将来は福祉関係で働きたいと思いました。そして、より幅広い年代の方々と接することができる介護福祉士になろうと決め、専門学校に進学しました。

学校の実習では、高齢者施設など様々な分野で経験を積みましたが、学生時代より放課後等デイサービスでアルバイトもしていたため、障がいのある子どもたちの成長を支えることができる、障がい児支援の仕事が自分には向いていると感じました。

### 主な仕事内容

現在は主に障がいのある中学生から高校生までの子どもたちの支援に従事しています。業務内容は子どもたちの送迎、運動や課題プリントの支援など幅広いもの。子どもたちと信頼関係を築くため、その子の特性に合わせた関わりを意識しています。



## 「子どもたちの話を聞き、多く関わりを持つように心がける

仕事上で心がけていることは、子どもたちと関わる時間を作り、話を聞くことです。活動で集中する時間帯とのメリハリをつけ、特にフリータイムの時間は一緒に座って話を聞き、子どもたちとの関係性を築いています。今後は多くの子どもたちから信頼される職員になることが目標です。

また、なかなかルールを守れない子とは、一緒に約束事を作り、何度も繰り返し理解を促すことで問題行動は減っていきました。時間を守れない子には、タイマーを見えるところに置いて、時間の感覚を意識してもらうなど、支援方法の工夫を考えるなかで、子どもたちと共に成長できることに障がい児支援のやりがいや魅力を感じています。



子どもたちが来所する前の時間帯に、一人一人の障がい特性に応じた支援内容を考え、準備をしています。

### 主なスケジュール(1日)

11:30	▶ 出勤 課題・おやつ準備
12:30	▶ 休憩
13:30	▶ 送迎
14:30	▶ サービス提供
18:30	▶ 送迎
19:30	▶ 退勤

※シフト制:週2日の休み

土日:日曜日は休み。土曜日に支援する場合もある。

### 後輩へのメッセージ

介護は「3K」などと言われ、正直私もそのようなイメージを持っていましたが、学校の実習などで色々な施設で経験を積むうちに、そのイメージがなくなり、働きやすいと思える施設はいくつもありました。

専門学校などにはボランティアの紹介などがたくさん来ると思うので、まずは自分に興味のない分野でも行ってみることをお勧めします。また、働きたいと考えている施設のパンフレットを直接もらいに行くなど、実際に自分の目で見てみてください。

# SAPP<sub>U</sub>RO

《発行》

札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL011-211-2938 FAX011-218-5181

平成31年(2019年)3月発行



さっぽろ市  
01-F04-18-2693  
30-1-207